

## 事業実績書

事業名	杉原千畝夫妻顕彰活動	
場所	沼津市港口公園、プラサヴェルデ、沼津市役所8F大会議室	
期間	令和5年 4月1日 ~ 令和6年3月29日	
	日程	実施項目・作業項目
事業 内 容		※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など)
	4月	令和5年度の顕彰活動のスケジュール確認 ・11月5日(日)第3回碑前祭「命のビザ・希望の集い」開催 ・11月25日(土)第4回命のビザ講演会
	5月	講師依頼 案内チラシの原案作成 協賛広告の依頼 講演会場(プラサヴェルデ・大会議室)の予約
	6月	リトアニア大使館、イスラエル大使館に案内状発送 県立高松高校(幸子夫人の母校)、白隠太鼓、加藤学園インターアクト部、暁秀中学 高校バイリンガルコースに碑前祭出席依頼 沼津市制100周年PR用法被の貸出許可願(政策企画課へ)
	9月	案内チラシの作成(2,000部)、関係者、市内各所に配布 頼重市長、奥村教育長と面談、出席依頼 「広報ぬまづ」に行事案内の掲載依頼(協働係を通して)
	10月	11月5日の碑前祭の開催準備、ならびに関係者との打ち合わせ 「広報ぬまづ」10月15日号に碑前祭、命のビザ講演会の案内掲載 11月25日の命のビザ講演会の案内チラシ配布
	11月	通訳の暁秀中学高校バイリンガルの生徒と通訳リハーサル 「要人(イスラエル大使館員)警護」静岡県警・警備課と打ち合わせ 11月5日(日)第3回碑前祭「命のビザ・希望の集い」開催 会場 港口公園の顕彰碑前 参加者 200名 スタッフ 27名、ほかに白隠太鼓、高校生など50名参加 11月25日(土)第4回命のビザ講演会「スターリンと杉原千畝」開催 講師:石郷岡 建(毎日新聞前モスクワ支局長) 会場 プラサヴェルデ3F大会議室 参加者 120名 スタッフ 15名(沼津国際交流協会を含む)
	12月	12月28日の高松高校と市内高校の交流会の打ち合わせ 沼津市立高校、桐陽高校への出前講座 参加者20名 12月28日 高校生交流討論会 会場 沼津市役所8F大会議室 参加者 50名 スタッフ 5名(顕彰会より)
	3月	令和5年度事業関係書類作成、提出 令和6年度事業計画の作成準備

事業効果	<p>※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。</p> <p>10月初めに、イスラエル軍がパレスティナのガザ地区を攻撃開始という不測の事態が生じる中、イスラエル、リトアニア両大使館の外交官、杉原千畝のお孫さん、杉原まどかさんを迎えスピーチをしてもらい人道の精神の大切さを確認できた。</p> <p>とくに今回は沼津市制100周年記念事業として杉原幸子さんの母校・県立高松高校から教師1名、生徒2名、計3名を招待して、碑前祭でスピーチをお願いした。</p> <p>また、12月31日には教師2名、生徒15名が沼津市に来訪、沼津市内の高校生15名と沼津市役所大会議室で命のビザと杉原千畝と幸子夫人について交流討論会を行い、港口公園の顕彰碑を見学した。次世代を担う高校生たちに命のビザの認識を深めてもらい交流することが出来た。</p> <p>命のビザ講演会では、リトアニアで日本の入国ビザを入手したユダヤ難民たちが、どのようにしてソ連の入国ビザを入手してシベリア鉄道を経て敦賀港に上陸できたかが明らかにすることが出来た。</p>
自己評価	<p>※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。</p> <p>イスラエルが戦争状態になった中で、静岡県警の20名の厳戒体制の中で、無事に碑前祭が開催されたことは大きい。</p> <p>次代を担う高校生たちの主体的な参加を得て顕彰活動が実現できたことは画期的なことだった。</p> <p>沼津市制100周年記念法被を着用、協賛行事としても実施できた。</p>
今後の活動予定	<p>※ ファンドを利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。</p> <p>来年度はイスラエル情勢を考慮し、碑前祭をリトアニアフェスティバルとして開催する予定で、リトアニア大使館と交渉中。碑前祭当日、夏休み中にリトアニア訪問を計画している県立高松高校の生徒を招待しリトアニア報告をしてもらおうと共に市内の高校に参加を呼びかけたい。</p> <p>命のビザ講演会は「もう一人の杉原千畝、根井三郎」と題する講演会とする予定、これで命のビザによって救われたユダヤ難民の逃避行が完結することになる。</p>